

おきなわサンゴ礁ウィーク 2017 実施報告書

2017 年 3 月 27 日

日本サンゴ礁学会 水山 克

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会が主催するおきなわサンゴ礁ウィーク 2017 において、日本サンゴ礁学会若手の会有志らによる「沖縄のサンゴ礁研究最前線～サンゴは地味だが役に立つ～」と題したイベントを 2017 年 3 月 12 日に沖縄県立博物館・美術館にて実施した。潮間帯生物、有孔虫、生体サンゴの展示や、若手研究者らによる研究紹介を行った他に、推薦図書コーナーを設け、サンゴ礁学会のNL 閲覧およびクリアファイル・ビラの配布をした。約 70 名が来場し、「うちなーんちゅ（沖縄県民）が知らないサンゴのことを外国人も含め若い人が研究していることを初めて知った」「これからも頑張ってもらいたい」という感想を得た。本イベントの開催にあたり多大なご支援を賜ったサウジアラムコジャパン、沖縄県水産課、沖縄県立博物館・美術館スタッフの方々にこの場を借りて御礼申し上げます。

▼主 催：日本サンゴ礁学会 若手の会 【琉球大学】 水山 克 (D3)、池内 絵里 (M1)、小島 香菜 (M1)、大野 良和 (D3)、栗原 晴子 (助教)

▼協 力：【琉球大学】喜瀬 浩輝 (M2)、大浦 一平 (M2)、北之坊 誠也 (M2)、國島 大河 (D2)、Maria Santos (D1)、Javier Montenegro (PhD)、【沖縄美ら島財団】山本 広美

【当日の様子】



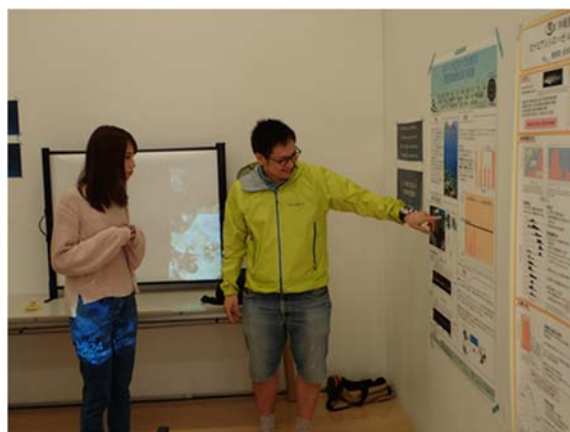
会場の雰囲気



潮間帯のジオラマ



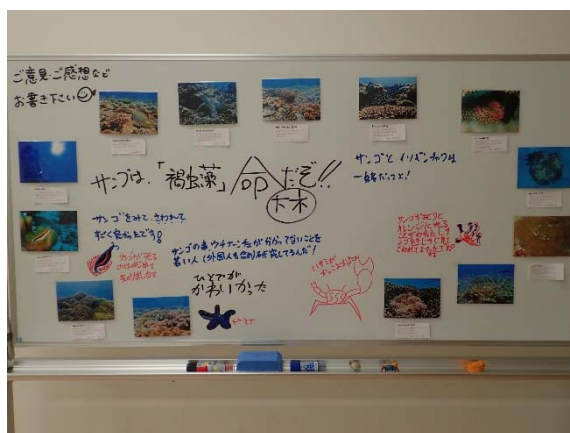
イシサンゴ類の顕微鏡観察



研究紹介（ポスター発表）



配布資料



来場者感想ボード